

平成 27 年度 在宅医療・介護連携推進事業  
「第 1 回 城東区ネットワーク会議」

日 時：平成 27 年 6 月 9 日（火）午後 2 時～午後 3 時 30 分

場 所：城東区医師会館 講堂

参加委員：（医師会）有賀会長 堤監事 西嶋先生 勝田先生 高田先生 池尻先生  
（歯科医師会）中川会長  
（薬剤師会）鈴木会長 渡辺先生 佐々木先生  
（訪問看護ステーション）横山看護師 伊藤看護師  
（在宅医療コーディネータ）中島氏  
（済生会野江病院）田澤氏  
（地域包括支援センター）古川氏 川畑氏 小林氏 川北氏  
（介護支援専門員協会）松井氏  
（城東区役所）大熊、岸本、高山

特別参加者：（ゆうゆうオレンジチーム）堀氏  
（シギノ駅前薬局実習生）駒居氏

## 【議事録】

### 1. 24-26 総括について

〔医師会・池尻先生（司会）〕

- ・「大阪府地域医療再生基金」による在宅医療推進事業の一環として、城東区では平成 24 年度途中からネットワーク会議を立ちあげ、多職種協働により在宅医療の推進を図ってきた。
- ・多職種の協力を得て、他区と比べても遜色のない活動ができたと考えている。
- ・本日配付する大阪府医師会発行の冊子「平成 26 年度大阪府在宅医療連携拠点支援事業 事業報告書」において、城東区の取組実績についても掲載しているので、ご一読いただきたい。

### 2. 27 年度 活動方針とスケジュールについて

〔医師会・池尻先生〕

- ・平成 27 年度からは、基金事業ではなく、介護保険法の地域支援事業に位置づけられる「在宅医療・介護連携推進事業」として同様の取組を進めていく。
- ・「在宅医療・介護連携推進事業」には 8 項目の事業が挙げられているが、これまでの取組を引き続き推進することで達成できるものと考えられる。

[区役所・大熊課長]

- ・委員の皆様には、約2年前からネットワーク会議にご参加いただき、在宅医療と介護の連携推進にご尽力をいただいております。今後も引き続きご協力をお願いしたいが、新制度では、介護保険法の地域支援事業に位置づけられたことに伴い行政が事業実施の主体となることとされている。
- ・一言でいえば「お金を出す財布が変わる」ということになるが、「在宅医療・介護連携推進事業」の平成27年度の予算は年間15万円（全区一律）しかない。
- ・新制度を構築する過程でのとりあえずの予算しか計上されておらず、この予算のみでは事業実施が困難であるため、城東区役所としては、講演会等の事業を行うにあたっては他事業の活用も行い、円滑な実施を図ってまいりたいと考えている。
- ・なお、在宅医療・介護連携推進に関わる大阪府の他の基金事業（大阪府地域医療介護総合確保基金事業）において、城東区歯科医師会が「在宅歯科医療連携体制推進事業」の「A地区」に手をあげている。

[医師会・池尻先生]

- ・平成27年度の多職種研修会については、平日は関係者の日程調整が困難であるため、土曜日に開催したい。  
→（調整の結果）**平成27年10月31日（土）午後開催**として準備を進めていきたい。
- ・場所については、区民ホールは予約が埋まっており不可のため、医師会館あるいは済生会看護学校等での実施を検討していく。他に適した場所があれば情報提供をお願いしたい。
- ・講演会については、地域住民の方を対象として、死生観に付随した内容での実施を考えている。  
講師の方の推薦があれば、区役所の委員に連絡してほしい。  
次回のネットワーク会議で候補者を検討したい。

[区役所・大熊課長]

- ・区民ホールの予約の関係上、講演会は年明け（平成28年2月頃）に実施する方向で考えていただければ、と思う。

[医師会・池尻先生]

- ・続いて、医療と介護の連携に関連する「認知症初期集中支援推進事業」について、ゆうゆうオレンジチームの方から説明をお願いしたい。

[ゆうゆう・堀氏]

- ・「認知症初期集中支援推進事業」は、区社協が大阪市から委託され実施しており、認知症の方（疑いのある方を含む）やその家族を訪問し、認知症の早期発見、早期診断、早期対応に向けた支援を行うため、専門医と医療・介護の専門職のチームで構成する認知症初期集中支援チーム（ゆうゆうオレンジチーム）を地域包括支援センター内に設置している。

- ・今年度は現在約 20 件に対応。年間 120 件の対応を目標としている。
- ・訪問依頼は、各地域包括支援センターや家族から受けることが多く、民生委員等の住民組織から受けることはほとんどない。これは個人情報保護の問題や、相談を受けても本人に訪問の了解を得ることが困難であることがハードルになっていると考えられる。  
また、民生委員が踏み出せない理由として、本人に家族がおらず情報が入らない、あるいは家族が認知症と認めないケースが多いことも挙げられる。

[医師会・池尻先生]

- ・認知症サポーターとの連携・協力はどのような状況か。

[ゆうゆう・堀氏]

- ・50 名程度のキャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師役）と、2000 人近い一般住民のサポーター登録があり、何をしてもらうかのフォローアップ研修は実施しているが、見守り等から訪問につなげる具体的な活動はできていないのが実情。
- ・個別に訪問するのは、本人や家族に抵抗感があるなど困難を伴うので、敬老月間や健康相談等、理由づけして訪問することを検討している。
- ・認知症の疑いのあるケースが見受けられた場合、ゆうゆうへの連絡をお願いしたい。

### **3. 住民アンケート結果の活用、広報について**

[訪問看護ステーション・横山看護師]

- ・アンケート結果について、来週横浜市で開催される看護学会で発表する。
- ・また、住民にも結果データを還元（周知）したいと考えている。
- ・結果を考察すると、人生の最終段階における医療の考え方について、本人と家族とでは意識の相違が窺える。
- ・ハコものを作るだけでなく本人や家族が生と死に向き合う心を持つことが大切と考える。
- ・終末期だけでなく、あらゆる局面で一人ひとりの意思決定の支援（思いをつなげていく）が必要であり、この考え方をしっかりと実践したい。

[区役所・大熊課長]

- ・結果データについては、区役所のホームページに掲載することで住民の方への周知を図りたいので、メーリングリストにより区役所にデータ提供をお願いしたい。

[医師会・有賀会長]

- ・区役所ホームページ掲載の際には、相談先として地域包括支援センターをリンクできるように画面設定してほしい。

[区役所・大熊課長]

- ・地域包括支援センターにリンクできるようにする。
- ・アンケート結果は区役所ホームページのバナー欄に載せることを検討しており、アンケートの詳細についても別添で掲載したいと考えている。

- ・また、ネットワーク会議の議事録も掲載する予定。
- ・ホームページ掲載内容について、ご意見等あれば、来週中をメドに区役所の委員にメーリングリストにより連絡をお願いしたい。

#### **4. 安心パスポート登録について**

〔医師会・池尻先生〕

- ・安心パスポートを昨年度に 500 部作成し在庫があるので、今年度については増刷しなくても対応できる見込み。
- ・対象者の登録、パスポート配付、ケース検討等を進めていきたい。

#### **5. リハビリ職代表の参加について**

〔医師会・池尻先生〕

- ・今年度から、東大阪病院の川北先生（理学療法士）に、リハビリ職の委員としてネットワーク会議に加わってもらうこととなった。（本日は不在）
- ・次回の会議において、城東区のリハビリテーション資源について情報提供をいただく予定。

#### **6. その他**

〔医師会・池尻先生〕

- ・ジョネット（城東区居宅介護支援事業者連絡会）から講師依頼を受けており、来週、ケアマネの方を対象にネットワーク会議の内容について講義する予定。

〔医師会・池尻先生〕

- ・ネットワーク会議については、平成 26 年度は毎月実施してきたが、委員の人数が増え日程や議案の調整に時間を要するようになってきたため、課題等があれば実務者間でスピーディーに調整を図っていただきつつ、全体の会議を 2 ヶ月に 1 回程度開催し、その場で案件報告し承認を受けていただく方法が良いのではないかと思う。
- ・よって、次回のネットワーク会議は、2 ヶ月後の**平成 27 年 8 月 11 日（火）**開催としたい。（後日、改めてメーリングリストにより連絡する。）

（以 上）